

# 佐田時代めぐりウォーク開催

十一月三日（金・文化の日）に第一〇回「佐田時代めぐりウォーク」を開催しました。

今回は、把握しているだけで、他に三件の催し物があるということ、参加者の人数が少ないのでは、と懸念されましたが、昨年よりは少ないものの、一五〇名を超える方が、佐田の景色などを楽しみながら、ゴールの佐田小学校目指して、心地よい汗をかいておられました。

六か所の史跡等で、今回も佐田小児童による「キッズガイド」が活躍し、参加者から関心と感動の声がかれました。

恒例のお接待も、山蔵と内川野の方々のお蔭で開設することができ、暑い中での給水、捕食、トイレの心配も解消され、とても好評でした。

# 佐田まちづくりたいど

第153号



お接待の様子（大年社）



PTA・ウォーキング協会による安全誘導



ヒーロー「キッズガイド」

道中は参加者の安全に万全を期すため、PTAスタッフと、宇佐市ウォーキング協会の方々が細心の注意を払って誘導等に当たってくださいました。

おっと、津房駐在所の高倉さんも警備にあたってくださいました。

事故無く全員が無事ゴールし、そこに満を持して待っていたのは、恒例、女性部による「振舞い豚汁」。

疲れた体に染み渡るう。おいしそうに食べる姿にほっこりする反面、実はずっと地獄を見ていた私。

スタート後から大鍋の準備をし、具材が入れられるころには、程よくお腹が空いてきます。

私とともに、完成した豚汁は、ゴールする皆さんを待っています、その間も



スマホでカラー版を見る事が出来ます



さげもん たん屋

私の鼻には容赦なく美味しそうな匂いが突き刺さっており、まさに生き地獄をさ迷っているようでした。

そんなこんなで記念すべき一〇回目の時代めぐりウォークも、沢山の方の協力をいただき、盛大かつ成功裏に終わることが出来ました。

一〇年一昔ではないけれど、開催初期と比べると、やはり環境は変わってきています。

それまで出来ていたことや、やっていたことがごく普通、そんなものと勝手に解釈していた自分がいました。携わる人たちもやはり年を重ね出来なくなることも出てくる。

色々、話しを聞いて気付かされることもあり、改善点も見つけて（十分とは言えませんが）臨んだウォーキング、PTAの豚汁づくりの参加など、次世代への継承も含め、今、世代を超えての活動が必要な時期かも、私はそう思う。



豚汁スタッフの方々「はいどうぞ」おいしうでしょ。



鍋いっぱい豚汁



## 天気は快晴・気分はルンルン

伝統を守るとか、大きなことは言えませんが、無くさずに継承できることがあれば、残せればなあと思います。

話しはなぜか、とんでもない方向に行ってしまうましたが、時代めぐりウォークに携わってくださった皆様、お疲れさまでした。ありがとうございます。

豚汁の件ですが、心配しただけだった方、すみません、実は終了後に三杯ほどいただきました。

余は満足じゃ。



# トリニー田農業クラブ第3弾!!

一〇月二十九日(日)、大分トリニータのホーム、レゾナックドーム大分に、先日収穫したもち米と、その米で作ったおこわの販売に行ってきました。

当日は日曜日ということと、J1昇格プレーオフ出場への望みを繋ぐゲームでもあり、沢山のお客さんが来場してました。

我々は、ドームの西側に設けられたニータンパークに一ブース構えての出店。

チーム佐田、参加を希望した佐田小児童、保護者、教職員、まち協女性部、百花草に市職員、総勢三五名で乗り込みました。

隣には、ピーナツ餅で人気の「杵や」さん。

開店前から長蛇の列、さすがだなあと見ていましたが、焦ることなく、全部売り尽くして…と応援していただきました。

実は今回「杵や」さんが販売している商品の原料はトリニー田事業で収穫した佐田のもち米なのでした。

## もち米・おこわ販売&餅つき



チーム佐田も準備が整い、いざ販売開始。

児童たちもスタッフとして加わりますが、沢山の人々を前にして物怖じしないで対応できるのかな?と様子を見ていましたが、それは、いらん世話でした。

みんな大きな声で「いらっしゃいませえ」と、何と積極的で勇ましかったか、女性陣も一歩下がったの後方支援に回りました。

特に高学年は、その自覚からかとても頼もしくリーダーシップを発揮していました。佐田ん未来は明るいぜよ。

販売には、松本CROをはじめ、稲刈りにも参加してくれた高橋祐翔、佐藤丈晟両選手も加勢してくれました。

おかげで用意した二一〇個のおこわは完売しました。途中で、現地で餅つきをして来場者に振舞いました。

じっと待ってた人が、つきたては美味しいと舌鼓を打ちながら、それでは、と二合入りのもち米を買ってくださいる方もおられました。



ニータンとリッジも本戦  
ヤリに立ちは高く青かった

瞬間に時が過ぎた活動でしたが、参加者は前半戦だけはゲームを見ることで、帰りの車中でトリニータの勝利も見届けることが出来ました。

黒みとりは皮が破れないのでおこわに適していると聞き、このおこわは破れない、イコール敗れない、つまりはトリニータが勝つ。正にその通りの結果になりました。

日の出前の朝早くから作業にあたって下さった方々をはじめ、参加下さった方々、お疲れ様でした、ありがとうございます。

女性部の方々が、佐田交差点にパンジーを植え付けてくれました。これから寒くなり、気が滅入りそうになります。花々が明るく優しく癒してくれることでしょう。お疲れ様でした。

### 告知

クリスマス飾り展示

一二/二(土)〜八(金)

一〇時〜一五時

於たん屋(賀来誠一さん方)

By うさぎ娘

